Panasonic

取扱説明書

住宅用照明器具(LEDダウンライト)

保管用

施工説明付き



品番 LGB72012 c1 LGB72013 c1

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。 ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。 この取扱説明書は大切に保管してください。 施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や 損害の程度を区分して、説明しています。

「死亡や重傷を負うおそれがある 内容」です。

「傷害を負うことや、財産の損害が 発生するおそれがある内容」です。 ■お守りいただく内容を、次の図記号で 説明しています。(下記は図記号の一例です。)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る 異常状態が収まったことを確認し、販売店 または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。



●器具を改造したり、部品交換をしない 火災、感電、落下によるけがのおそれが あります。



●照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具 などの可燃物が近づかないように注意する

守らないと、照射物の変色、 火災のおそれがあります。



照射物近接限度10cm

(ドア・家具・布等の可燃物) 照射物



●照明器具には寿命があります。 設置して10年経つと、外観に異常が なくても内部の劣化は進行しています。 点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けると まれに火災、感電、落下などに 至る場合があります。

- 必ず守る
- ◎1年に1回は別紙安全チェックシート に基づき自主点検してください。
- ●お手入れの際は電源を切る 通電状態で行うと、感電の原因となる ことがあります。
- ●器具の取り外しは販売店、工事店に 依頼する

器具の取り外しには資格が必要です。

- ●温度の高くなるものを器具の真下に置かない 火災の原因となることがあります。
- ◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。
- ●LEDを直視しない 目の痛みの原因となることがあります。
- ●器具配線やコネクタを過度な力で 引っ張らない

充電部露出による感電の原因となることが あります。

●LEDユニットがぶら下がった状態で 使用しない

充電部露出による感電の原因 となることがあります。





施工説明

安全上のご注意

(必ずお守りください)

■天井

●次のような場所には取り付けない 火災、落下によるけが、天井材破損の おそれがあります。

- 強度のない薄い天井面
- ロックウールなどのやわらかい天井面
- 傾斜角 55 度を超える天井面



- ◎この器具は天井面埋め込み専用です。 ◎石こうボード(9 mm以上)に取り付けできます。
- ●特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には 取り付けない

過熱して火災のおそれがあります。

日本照明器具工業会SB・SGI・SG形滴合品 マット敷工法 ブローイング工法



6

●照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具 などの可燃物が近づかないように考慮して 取り付ける



守らないと、照射物の変色、 火災のおそれがあります。



照射物近接限度10cm

(ドア・家具・布等の可燃物) 照射物/

■壁スイッチ

●調光器は当社製適合ライトコントロールを 使用する



指定以外のライトコントロールと組み合わせて 使用すると、火災のおそれがあります。

◎ライトコントロールの注意事項については ライトコントロールの説明書をご確認ください。 当社製適合ライトコントロール ライトコントロール(起動方式 L C対応用)

■その他

●器具の取り付けは、説明書に従い 確実に行う

取り付けに不備があると、火災、感電、落下 によるけがのおそれがあります。



- ●交流100ボルトで使用する 過電圧を加えると過熱し、火災、感電の おそれがあります。
- ●電源線は端子台の差込穴の奥まで 確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、火災、感電の おそれがあります。



屋内配線の電源、ケーブルなどは器具に 接触させない

火災のおそれがあります。

注意



■浴室など湿気の多い場所や 屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。 ◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



- ●温度の高くなるものの上に取り付けない 火災の原因となることがあります。
- ◎レンジなど温度の高くなるものの上に 取り付けないでください。

お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

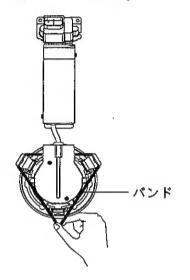
- ●明るく安全に使用していただくため、 定期的(6ヵ月に1回程度)に清掃してください。
- ▶汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、 乾いたやわらかい布で仕上げてください。

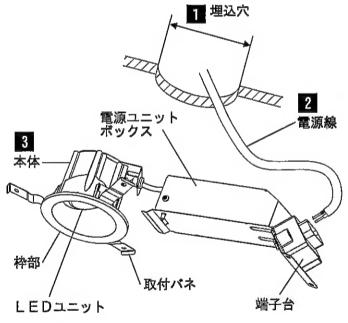
(確認

シンナー、ベンジンなどの 揮発性のものでふいたり、 殺虫剤をかけたりしないでください。 変色、破損の原因となります。

取り付け前のご注意

- ・ほたるスイッチと接続する場合は器具1台につきスイッチ3個まででご使用ください。 (4個以上のほたるスイッチと接続すると、 スイッチを切にしても器具が消灯しない ことがあります。)
- ・表面に 1 mm以上の凹凸のある天井の場合は、 気密性が損なわれるおそれがありますので、 平面に仕上げてください。
- ・バンドを外してください。





1 天井に埋込穴をあける

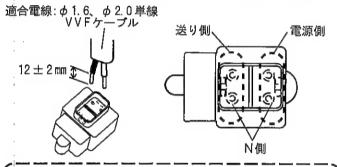
・天井の厚さにより、下記寸法の埋込穴をあける。

天井の厚さ	埋込穴寸法	
5 mm以上 9 mm未満	ϕ 100 \pm 1 mm	
9 mm以上 25 mm以下	φ 100 ±3 mm	

※指定寸法でない場合、すき間があきます。 精度よく穴をあけるために、 ダウンライトカッターの使用をおすすめします。

2 端子台に電源線を接続する

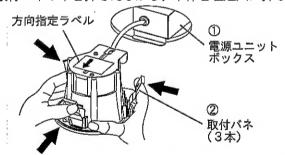
- ・端子台に電源線を確実に差し込む。
- ·送り総容量は4A以下です。
- ・LED器具を送り配線する場合は、ライトコントロールの 最大負荷容量かつ接続可能台数まででご使用ください。





3 本体を埋込穴に入れる

- ・方向指定ラベルに従い、矢印方向を天井の高い方に向ける。
- ①電源ユニットボックスを埋込穴に入れる。
- ②取付バネ3本を押さえながら、本体を埋込穴に押し込む。



⚠ 警告



押し込みが不十分な場合、 ガタツキおよび器具落下 の原因となります

●石こうボードに取り付けた器具を取り外す場合は、 枠部をゆっくり引き下げて取付バネ(3本)を押し曲げ ながら取り外してください。 取り外しに不備があると、天井材破損の原因となる ことがあります。

LEDユニットの交換について

光源に不具合が発生しても、LEDユニットだけを交換できます

▶LEDユニットの品番は、LEDユニットの背面に表示しています。

●交換用のLEDユニットは、販売店、工事店にご依頼ください。

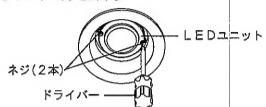


LEDユニット品番

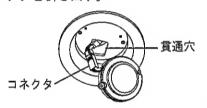
交換方法 注)交換作業前に、必ず電源を切ってください。

LEDユニットを取り外す

①プラスドライバーでLEDユニットを 固定しているネジ(2本)を外す。



②貫通穴からコネクタを引き出す。





器具配線やコネクタを過度な力で引っ張らない

充電部露出による感電の原因となることがあります。

2 コネクタの接続を解除する

コネクタのロック部を押さえながら 接続を解除する。



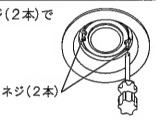
| 交換用LEDユニットを接続する

・コネクタを"カチッ"と音がするまで 差し込む。



┃交換用LEDユニットを取り付ける

交換用LEDユニットをネジ(2本)で しっかりと固定する。



゛使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- ●LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- ●LEDがちらついたり、点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店、または別紙お客様ご相談窓口に ご相談ください。
- ●リビングライコンで複数灯を同時に調光した場合。調光下限において点灯、消灯の状態にバラツキが ありますが異常ではありません。

【周囲の影響】

- ●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- ●器具のきわめて近くでは、リモコン機器(エアコンなど)のリモコンが動作しにくくなることがあります。

品番は枠部のラベルをご参照ください

品番	使用電圧	周波数	消費電力	入力電流	LED
LGB72012LC1	AC100V	50/60Hz 共用	7. 1W	0. 14A	高演色・昼白色
LGB72013LC1					高演色・電球色

● L E D 照明器具の光源寿命(※)は、40,000 時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)

※光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光東が点灯初期の70%に下がるまでの 総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

パナソニック株式会社 インテリア照明ビジネスユニット

〒 571-8686 大阪府門真市門真 1048 © Panasonic Corporation 2012 LGB72012LC1-T3A1